

事業名		地すべり		路河川名等	(地)引の田					
事業毎の通番		1	市町村名	大鹿村	箇所名(ふりがな)	引の田(ひきのた)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画			関連する事業プロジェクト	なし				
	現状と課題	引の田地区は青木川右岸に位置し、下部に国道152号、上部に上青木集落を含む地すべり防止区域である。平成19年7月から末端沢地形に地すべりが拡大し、上部を通る村道に変状が生じ、簡易水道管が破断するなどの事象が発生している。また、平成30年9月にはA2ブロックにおいて表層すべりが発生した。区域内を通る村道引の田線は、上青木地区へ通ずる幹線村道となっており、道路内には下流部大草原地区内への水道管も埋設されているため、緊急時の避難路・運搬路とともにライフラインが寸断される懸念がある。								
	事業目的	本事業により地すべり対策工を実施し、土砂災害を未然に防止する。								
事業概要	着手年度	2024年度(令和6年度)		事業期間	10年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2033年度(令和15年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	横ボーリング工 L=6,750m(15群)、集水井工 N=3基、水路工 L=500m			920,000	460,000		368,000	92,000	
事業概要										
	 <p>頭部滑落崖内の凹地形</p>			 <p>村道のクラック変状</p>			 <p>末端部の湧水</p>			
事業効果	主な受益対象	人家17戸、公民館、国道・村道、一級河川(青木川)等								
	期待される効果	災害時における防災機能の強化(重要路線) 住民の防災意識の向上、安全・安心による人口維持				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.0			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域の重要なインフラ施設(国道・村道)が保全対象となっており将来的にも十分な効果が見込まれる								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	ブロック内に村道が有り舗装に段差等の変状が現れており、ブロック末端は国道152号に隣接しているため、地元からの対策要望は強い。								
	事業説明等の経緯	H30年4月、地元及び地権者へ今後の事業への協力について了解を得ている。								
評価結果	所管課の意見	当箇所では地すべり滑動に伴う村道変状が確認され、活動が活発化すると下端部にある青木川へ流入し、河道埋塞に伴う氾濫及び湛水、国道の寸断に伴う孤立集落の発生への恐れがある。保全対象である青木川、国道152号、人家17戸、公民館を地すべりによる被害から守るため、早期に事業を実施する必要がある。						妥当性評価※	優先度評価※	
	政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	4.7	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—			評価の決定	事業着手		

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)